

# 花のあとさき

ムツばあさんの歩いた道

映画上映会



花を咲かせて  
ふるさとを  
山に還したい

埼玉県秩父市吉田太田部檜尾。  
山あいの段々畑に  
花を植え続けた夫婦と  
小さな村の物語――

2022

8.28(日) さわふじ未来ホール

上映開始 ①14:00 ②18:00

入場無料  
500名

【主催】西原町地域ぐるみ学力向上推進協議会

【共催】西原町教育委員会

【後援】西原町子ども会育成連絡協議会・西原町PTA連合会

# 瀬戸内寂聴

(作家・僧侶)

涙があふれて、私はゲクゲク泣き続けました。  
丸顔のあどけない顔つきが年と共に美しくいきいきしてきたのは、  
彼女の暮しが、花のいのちと共にあったからでしょう。

花が咲くと

何にも忘れるがね。

秩父の山深い村に暮らす小林ムツさんは、平成に入った頃から、夫の公一さんとともに、丹精込めた段々畑をひとつまたひとつと閉じそこに花を植えてきました。その数、1万本以上。ムツさんは言います。

「長い間お世話になった畑が荒れ果てていくのは申し訳ない。せめて花を咲かせて山に還したい…」。

それはまるでふるさとに花を手向け、終わり支度をしているかのようでした。

二人が心がけていたのは、いつか誰も世話をする人がいなくなっても咲く、丈夫な花を育てること。

人も花も、老いて枯れる時が来ても、いのちが次に引き継がれるように…。

暮らす人が年々いなくなる小さな村は、春、色とりどりの花に包まれるようになりました。

福寿草に始まって、レンギョウ、ハナモモ、ヤマツツジ。

潤いの雨を受けてアジサイが咲き、秋は、苗木の時から夫婦で育てたモミジが彩ります。

「いつか人が山に戻ってきたとき、花が咲いていたらどんなにうれしかろう。」

柔らかな笑顔でそう言っていたムツさん。でもやがて、つらい出来事が—。

ムツさんの歩いた道を、美しい山里の四季とともにたどります。



## NHKの人気ドキュメンタリーシリーズ 「秩父山中 花のあとさき」待望の映画化。

監督・撮影は、ムツさんに惹かれて18年にわたり取材を続けたNHKカメラマン・百崎満晴。

プロデューサーは「新日本風土記」で芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した伊藤純。

語りは「NHKスペシャル」などのナレーションで放送文化基金賞を受賞した長谷川勝彦。

平成14年から放送されて大反響を呼んだ7本のドキュメンタリーシリーズを集大成し、

映画のために書きおろされたオリジナル楽曲と未公開シーンを加えてお届けします。



### 太田部榎尾とは？

埼玉県秩父山地の北の端。かつては養蚕や炭焼きが盛んで、100人以上が住んでいた。取材を始めた平成13年には、戸数5戸・住人9人・平均年齢73歳となっていた。

※榎尾の家や敷地は私有地です。現地を訪れる際は十分にご配慮をお願いします。

## 花のあとさき ムツばあさんの歩いた道

語り：長谷川勝彦 監督・撮影：百崎満晴 プロデューサー：伊藤純 制作著作：NHK 制作：NHKエンタープライズ 配給：NHKエンタープライズ | 新日本映画社 宣伝配給協力：ウッキー・プロダクション  
文部科学省選定(青年、成人、家庭向き) | 厚生労働省社会保障審議会推薦 | 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟後援 協力：秩父市吉田総合支所 | 一般社団法人 秩父観光協会吉田支部

2020年 | 日本 | 112分 | 16:9 | カラー | ドキュメンタリー ©NHK

hana-ato.jp fb.com/hana.atosaki @hana\_atosaki hana\_atosaki

問い合わせ先：西原町中央公民館 TEL 098-945-3657

整理券配布：西原町中央公民館・西原町町民交流センター(さわふじ未来ホール)